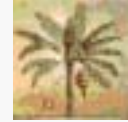


**American Soybean Association IM JAPAN
Newsletter for Food Market
アメリカ大豆協会 ニュースレター
Issue 39 : SPRING 2007
～ バンコク国際シンポジウム 報告編 ～**



お知らせ

ASA-IM 東南アジアがバンコクで大豆のシンポジウム&トレードショーを開催



March 9, 2007 - アメリカ大豆協会東南アジアは3月6日にマヒドル栄養大学と大豆食品フォーラムとの提携で、バンコク(タイ)で第5回東南アジアソイフードセミナー&トレードショーを開催しました。5-9日は、国際大豆シンポジウムが同時開催され、プラチナ・ゴールドスポンサーとして大塚製薬(SOYJOY)、テトラパック、またソレイ、SOLBAR、VITA MILK各社はシルバースポンサーとして参加しました。研究機関・メーカー・輸出入業者・大豆生産者・政府機関等から約300名近く出席しました。ASA-IMからは、シンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、インド、パキスタン、日本、アメリカのスタッフが約20名参加しました。

[5日(月)「アジアの発酵大豆食品 現況・研究・展望」セミナー]

・アジアにおける発酵大豆食品の製造工程、機能性に関する最近の研究に焦点があてられました。ASA IM - JAPANは「日本の発酵大豆食品-納豆・味噌市場」について発表。前者は納豆が持つ特別な健康効能の認知浸透によって消費が続伸中であること、後者は世界の日本食ブームに応え、海外市場にむけてのグローバルなマーケティング展開が計画されている事を強調した。

[6日(火)「第5回 東南アジア ソイフードセミナー&トレードショー 科学からマーケット」]

・アジアの大豆市場の状況、トレンド、製品の革新について。日本からはフジプロテインテクノロジーが大豆たんぱくについて発表。

[7-9日(水-金)「第7回 国際大豆シンポジウム 健康と病気の予防における大豆の役割」]

・骨の健康から思考能力の保持など、広範囲にわたる大豆の最新研究発表。今後、大豆と心理・認知機能の関連性が確認されれば面白い・・・
・イソフラボンの権威であり米国 SNI のまとめ役であるマーク・メシーナ氏は日本のイソフラボン上限の設定に引き続き異論をしめした。同氏は昨年米国 SNI(ソイ・ニュートリション・インスティテューション)の代表として ASA 日本事務所と共同で食品安全委員会にパブコメを提出している。
・日本から参加いただいた以下6名のスピーカーには、イソフラボン摂取量の上限に関する食品安全委員会の見通しをはじめ、納豆摂取と閉経後女性の骨量低下防止の関連性、最近注目を浴びつつあるエクオール効果など、大豆の機能性における最新研究の現況のお話を聞いた。
・以下の6名の講演者他、日本からは約20名の方にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。

国立健康・栄養研究所 渡邊 昌氏、石見 佳子氏、岐阜大学医学系研究科 永田 千里氏、近畿大学医学部付属病院 池田 行宏氏、大塚製薬株式会社 佐賀栄養製品研究所 庭田 禎久氏、フジプロテインテクノロジー社 マーケティング部 本郷 晋一氏

SNI バンコクの国際学会の議長を務めた米国 SNI(ソイ・ニュートリション・インスティテュート)の専務理事、マーク・メシーナ氏は、次回の大豆の国際シンポジウム “8th International Symposium on the *Role of Soy* in Health Promotion and Chronic Disease Prevention and Treatment”. の東京での開催を発表した。2月に設立された日本版 SNI である SNIJ も当会をサポート予定。開催予定日は、2008年11月9-12日。

イソフラボンで前立腺がん予防 = ただし進行段階では不明 厚生労働省研究班

日常の食生活で、大豆製品などに含まれるイソフラボンを多く摂取する人ほど前立腺がんになりにくいことが、厚生労働省研究班(主任研究者・津金昌一郎 国立がんセンター部長)の大規模疫学調査で分かったようだ。ただし、前立腺内にとどまる「限局がん」の場合だけで、外に広がる進行がんでは予防効果が見られなかったと報告。16日発行の米国専門誌に発表した。ニュース原文は American Association for Cancer Research <http://www.aacr.org/> から閲覧可。(Yahoo ニュースより 3月15日 22時31分配信 時事通信)

**American Soybean Association IM Japan
アメリカ大豆協会 発行**
HP: <http://www.asajapan.org/>
Food Soybean: Masako Masi Tateishi
食品大豆 担当: 立石雅子
E-mail: mailto:asamt@gol.com